

## 平成30年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	4. 学習状況調査事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	4. 教育センター費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	
臨時	単独	計画	0	0	733	実施計画	第3章	心豊かな人づくり、まちづくり	4,502
							基本施策6	学力向上の推進	平成28年度 853
									平成29年度 874
									平成30年度 925
							施策1	確かな学力を定着させます	平成31年度 925
								平成32年度 925	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		825

財源内訳									一般財源
本年度当初要求額									0
本年度当初査定額									825

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・学習状況調査作成委員会を年間4回開催し、調査問題を作成します。</p> <p>・市内小中学校に通う小中学生に調査を行います。</p> <p>・調査結果を集計・分析して、報告書を作成し、各小中学校に配付します。</p>	<p>(事業の目的) 市内小中学校に通う小中学生の国語、算数・数学、理科、英語(中学校のみ)の基礎的な学力の一部と、国語、算数・数学の知識・技能等を活用する力について現状を把握し、授業改善を図り、学力の向上をめざします。</p>	<p>(事業の効果) 調査結果及びその分析をセンター等報告会、報告書、校内研修会等を通じて学校にフィードバックすることにより、学習指導の改善に寄与できます。さらに、基礎学力向上のために、補習用プリントを作成し、各小中学校で補習や家庭学習の教材として活用しています。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・各校の取組により、基礎学力は定着してきています。基礎的な内容を活用する力に課題が見られるので、活用力の育成を目指し、指導内容や指導方法等の工夫改善について模索していきます。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・基礎的な学習内容の一部と、それらを活用する力について、定着状況の調査を行っています。この調査を、より充実させるため、問題作成委員の構成を充実させ、よりよい問題づくりを行います。</p>	<p>(見直しについての特記事項) ・佐倉の教育施策の重点項目に「確かな学力の向上」が挙げられているため、必要となる基礎学力及び知識・技能を活用する力を向上させる取組を充実させます。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	260	260	0
11	510	520	△10
14	55	21	34

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	825	0